

第3次魚津市観光振興計画（案）に対するパブリックコメント実施結果（公表分）

- 期間：令和4年1月7日（金）から令和4年1月28日（金）まで
- 提出件数：7件（うち1件は非公表希望、1件は公表可否不明（空欄）のため公表しない。）
- 提出意見とそれに対する市の見解等

No	ご意見	魚津市の見解等
1	蜃気楼のしの字も無い。	ご意見を踏まえて、魚津ならではの観光資源である蜃気楼をさらに活用できるよう、商品やサービス開発など観光消費額増加に寄与するような計画内容として補強させていただきます。
2	<p>魚津市の観光振興計画拝見させていただきました。内容は、素晴らしく体系的に分析されて課題が明確にされていました。この素晴らしい計画を推進し、実りあるものにするために私なりに思うところを以下に述べさせていただきます。この計画を実行するためには幾つかの管理する仕組みが必要かと思えます。</p> <p>① 各分野別の課題の進捗管理責任者は明確？ ② PDCAを廻すために課題の進捗フォロー頻度は？ ③ 課題の達成度を監視するためのインプットデータは何？ そして成果のアウトプットは何？ ④ すべての課題の主担当者は？ ⑤ 全体の進捗を管理する方法は？ ⑥ 上記事項を規定する文書は？</p> <p>少し硬い表現となりましたが振興計画を絵に描いた餅に終わらせないためには必要と考えます。</p>	<p>ご指摘のとおり、計画実行のために必要となる進捗管理（PDCA サイクル）や成果等を意識しながら、個別の事業を実施できるよう努めて参ります。</p> <p>全体計画の進捗については、計画（案）P47に記載のとおり、魚津市観光振興計画推進協議会を開催するなどしながら、事業の進捗状況や評価・点検を行って参ります。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・観光だけで潤っている市があることが分かった。出雲市など。 ・魚津市は観光の街として、他から認知されているのか？ ・蜃気楼を知らないのでは？知ってても見れないと思っているのでは？ ・観光消費額目標、128億円と言っておきながら、第3次計画（案）の令和8年で89億円とは甘すぎる。 ・3次計画の施策は何がしたいのか全く分かり難い。なって欲しいという希望しかない。 ・魚津蜃気楼研究会の研究会委員に、観光ガイドの教育をして頂きたい。（モラルなど含めて。） ・魚津のLINEに魚津市民の登録キャンペーンを行い、地域の情報をいち早く流す。もちろん蜃気楼情報も ・ミラージュランドに来た人は、多分、魚津の観光をせずにそのまま帰る → 市内への行き方が分からない → 道が不便。 ・市外からの方優先で宿泊なのだが、市民には繁忙期以外に、半額割引で宿泊できるようにする。 ・蜃気楼見学ツアーもしくは、研究会会員体験 蜃気楼は昼間なので、夜の宿泊と食事を充実させる。 ・タテモン行事は夏場だけだが、期間以外は定期的に「ありそドーム」を使って体験させる。 ・魚津蜃気楼研究会と魚津市観光協会のつながりが無いのも問題である。 ・旅先で魚津市を選んだ理由はインターネット SNS で情報を得た人も多く、自然・景勝地観光体験が多いので、蜃気楼観光は効果が絶対にある。 	<p>さまざまご提案を参考にさせていただきます、個別の施策や事業に取り入れられるか検討して参ります。</p>

4	<p>同一地域内に存在する 2 系列の観光協会まずは 1 つにし、その上で上市・立山町さん参加呼びかけ、 仮称、富山県東部観光協会発足を目指してみたいかがでしょうか。(大人の対応で。)</p> <p>特に隣接する上市町馬場島・剣岳北方稜線（毛勝三山）・早月尾根の存在は魚津市にとっても魅力的な地域。 事務局幹事がどこの市町村のなろうと、スマホ内に情報が混在し自由に情報をチョイスできる時代。 昭和の慣習・慣例・感情をアップグレードし、関係市町村(大糸線沿い、白馬村・大町市等含む)と一緒に補い合い助け合い頑張りましょう。</p> <p>※日々スマホ内に混載する情報お気に入りの情報しかチョイス若者、絶景・おいしい食・温泉はどこにでもある三種の神器。 大事なのは『妄想力・情報のアレンジ力。…言葉の力』</p>	<p>近隣の自治体等と連携し、広域観光を推進していくことは重要であると考えております。 既存協議会組織の枠組みに限らず、関連のある関係市町との連携を模索しながら、広域観光連携をさらに強化できるよう努めて参ります。</p>
5	<p>“魚津城の戦い”を再現？した「織田軍 VS 上杉軍による綱引き合戦」 魚津の歴史を後世まで繋いでほしい。 コロナが落ち着いたら、織田軍は愛知県や石川県から来てもらい、上杉軍はもちろん新潟や山形県から来て戦って欲しいです。</p>	<p>ご意見を参考に、NHK 大河ドラマ「天地人」に取り上げられた「魚津城の戦い」など、魚津の歴史を活用した観光施策や広域観光連携を検討して参ります。</p>